

★チャレンジ!夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

「全校音楽劇を振り返る会」を行いました！！

12月18日（水）に全校音楽劇でお世話になっている〇〇〇〇さんをお迎えし、「全校音楽劇を振り返る会」を行いました。はじめに幕ごと分かれて全校音楽劇に向けた個々の取組についての振り返りを発表しました。苦労したことや乗り越えたこと、得たこと、これから生かしていきたいことを互いに発表し合いました。その後、全体での振り返りを行いました。学年を代表して2年生の〇〇〇さん、3年生の〇〇〇さん、4年生の〇〇〇さん、5年生の〇〇〇〇さん、6年生の〇〇〇〇さんがそれぞれの振り返りを発表しました。その中から、〇〇〇さんと〇〇〇〇さんの振り返りを裏面に紹介します。

〇〇〇〇さんからは「太田北小学校の子どもたちなら、新しいことにチャレンジしてくれると思って今回の台本を書いた。いろいろな困難を全員で乗り越えたことがすばらしかった。『みんなで頑張るってかっこいい、素敵なことだ』と思える台本を来年も作りたい」という話がありました。

私からは「全校音楽劇の本当の成功」ということについて話しました。私は「本当の成功」というのは、「一人一人が全校音楽劇で体験したことが学校生活の中でどれだけ生かされているか」ということだと思います。そこで、発表する際には原稿をただ読むのではなく、音楽劇と同じように原稿を見ないで自分の言葉で発表できるようになってほしいと提案しました。〇〇〇〇さんに全校児童を代表して御礼の言葉を述べた6年生の〇〇〇〇さんは、原稿を見ないで自分の言葉で発表していました。すばらしいですね。最後には、5年生が自分たちで考えた寸劇を交えて、全校児童で来年度の全校音楽劇に向けて掛け声をかけました。来年度の全校音楽劇が今から楽しみです。



〇〇〇〇さん、おめでとうございます！！

6年生の〇〇〇〇さんが令和6年度「人権標語コンテスト」で応募総数1,438編の中から「大曲人権擁護委員協議会長賞」を受賞しました。入賞した標語は「人権は だれでももってる 大切な物」です。12月18日（水）に人権擁護委員の〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが本校に来てくださり、賞状と記念品を伝達していただきました。受賞した〇〇〇〇さん、おめでとうございます!!



初めての練習では台本を見ていたけれど、だんだん練習していくうちに、セリフを見ないで言えるようになってきたり、気持ちを考えながらセリフを言えるようになってきました。お客さんたちがとても笑ってくれたので、うれしかったです。イワシで退場するとき、お母さんが泣いていたので「最後は全力で頑張るぞ。」と思いました。そして、6年生がすばらしいなあと思いました。特に〇〇さんが練習を引っ張ってくれたり、待っている時は「静かにして」とみんなに言ってくれたりしたので、すばらしいなあと思いました。

来年は3年生なので、今よりも楽しく活躍できるように頑張りたいです。また、〇さんみたいに一人で歌を歌ってみたいなと思いました。とっても良かったです。
(2年 〇〇 〇さん)

音楽劇での私のめあては、話す相手の方だけを見ないで、相手に伝わるような演技をすることでした。めあて達成のために頑張ったことは、三つあります。

一つ目は、自分で徐々に動きを付けたことです。理由は、自分で動きを付けたら頭の中にしっかりとその動きが入ってくるからです。

二つ目は、役の性格を考えて相手に伝わるようにすることです。理由は、役の性格が分かると、演技がよりその役に入り込めるからです。

三つ目は、〇〇さんの話をよく聞くことです。理由は、当たり前のように思っていました。誰かが教えてもらっているときもしっかりその話を聞くと「そういえば、自分もそうだったなあ」と自分のことを振り返り、「さあやるぞ」という気持ちになれるからです。

当日はしっかりと〇〇さんのアドバイスを生かし、大きな声で頑張れたと思います。オブジェを運ぶときに落とさないか心配でしたが、落とさずにいけました。そして舞台の上では、場所が去年までと違うので「失敗するかも」「声が小さいかも」と不安がたくさんありましたが、「お客さんたちは劇を見るのは初めてだから、失敗してもアドリブで大丈夫だよ」と先生に言われ、「自分ならできる」と自分を信じて演技しました。すると、自分なりに「ヤドカリ」という役をやりきれたなと思いました。音楽劇をやってよかったなと思えたことが二つあります。校長先生が作っている「チャレンジ!夢に向かって」というお便りに書いあった「音楽劇感想カード①~④」を読んでみました。すると「感動しました。」「来年も見に来ます。」「とても良かった。」「28人でこれはすごい。」など、褒めていただいた言葉がたくさんありました。その言葉を見たとき、「来年も頑張ろう。みんなで頑張ったからだ。」という気持ちになりました。もう一つは、音楽劇が終わった後、母に「音楽劇どうだった?」と聞いたところ、「感動した。5年間で一番すごい。頑張ったね。」と褒められました。正直、ここまで見ている方々や家族に褒められると思ってなかったので、本当に涙が出るくらい、うれしい気持ちになりました。

音楽劇全体を通して、今までで一番の劇になったのではないかと思います。

(5年 〇〇 〇〇さん)

